

近畿地区協議会基本方針

行動力に裏づけされた たくましい近畿の確立 真の民主主義国家創造に向けて

近畿地区担当常任理事 谷岡 樹

文化、産業、経済の発信源として日本の発展を支えてきたこの地域には、たくましい行動力に裏づけされた先取の精神が今も息づいています。この誇るべき精神性と魅力ある資本を活用して地域のデザインを描き切ることによって、近畿は必ず日本の明日を照らす太陽となります。97LOMと地域の将来を明るく照らす協議会であるために、地域の声に耳を傾け、実現に向けて緻密な計画性を持つロードマップを作成する必要があります。

まず、2009年度作成の近畿地区ビジョンを基に議論をさらに積み重ね、国と地方という対峙する関係から、多くの可能性を創出する新しい関係を作るために府県を飛び越えた広域運動を展開していきます。そして、泉佐野で開催される地区会員大会では、地域から国を変えていくための地域主権型道州制議論を喚起し、たくましい日本の将来像を力強く発信します。また、GTSに関しては真の国際人の育成という新しい価値観を付け加えてOMO I Y A R I運動として開催します。さらに、連携推進運動を効果的に推し進めるために地区内6ブロック協議会との情報ネットワークを構築し、リアリティのある国民目線の運動展開によって、政治課題に対する関心と選択意識を高い次元へと昇華させていきます。同時にJC運動の最大のスケールメリットである協働運動を地区内97LOMが円滑に開催できる組織運営を確立します。また、JCI世界会議大阪大会ではホスト地区として近畿気質を存分に発揮し、世界中のメンバーをお迎えします。そしてこの大会が責任の伴う発展を可能とする世界を建設し、真の世界平和実現の機会となるよう支援します。

日本人のアドマイヤー精神によって混沌とした時代を切り拓き、近畿が育ててきた公共基盤・社会関係資本の魅力を引き出すことにより、日本の再生に貢献しうるたくましい地域を確立し、全人類の光明たる「世界に輝く日本」に向け真の民主主義国家を創造します。

<事業計画>

1. 2009近畿ビジョンに基づく地域主権型道州制議論の推進
2. 近畿地区会員大会泉佐野大会の開催
3. 真の国際人を育成するGTSの開催（OMO I Y A R I 運動）
4. 地区内における戦略的メディア発信のための情報ネットワークの構築と活用
5. ブロック協議会における国民参加型憲法タウンミーティングの開催支援
6. ブロック協議会におけるアカデミー事業の開催支援
7. ブロック協議会における民間初の救援相互協定の策定支援
8. 責任の伴う発展に向けた世界を建設する機会への参画（ホスト地区としてJCI世界会議大阪大会に対する支援と協力）
9. 地区内における広域連携の検討および推進